

渡邊永子 様

第 49 回全日本愛瓢会愛知県知立市大会における金光賞の受賞、
及び NPO 法人・全日本愛瓢会名誉総裁である秋篠宮皇嗣殿下への作品献上の報告
(令和 6 年 7 月 19 日)

富士天間ひょうたん会会員の渡邊永子様のご制作したひょうたん作品が、第 49 回全日本愛瓢会愛知県知立市大会において、金光賞を受賞しました。

その作品が、NPO 法人・全日本愛瓢会の名誉総裁を務められている秋篠宮皇嗣殿下のお目にとまり、殿下のご希望により赤坂御用地内の秋篠宮邸にて献上されました。

受賞及び献上の報告のため、7 月 19 日に富士市長を表敬訪問されました。

訪問者 渡邊 永子（わたなべ えいこ）様（富士天間ひょうたん会会員）

同行者 ①遠藤 恵久（えんどう よしひさ）様
NPO 法人・全日本愛瓢会理事兼静岡県支部長
富士天間ひょうたん会会長

②高橋 光芳（たかはし みつよし）様
富士天間ひょうたん会事務局

○受賞作品に関する概要

大会名 第 49 回全日本愛瓢会（ぜんにほんあいひょうかい）愛知県知立市大会

期間 令和 6 年 6 月 6 日（木）・7 日（金）

作品名 「春夏秋冬」（四つのひょうたんで四季を表現・デコパージュ技法を駆使）

受賞名 金光賞（愛瓢会全国大会で金賞を 3 回以上受賞した人のみに与えられる賞）

○献上に関する概要

日程 令和 6 年 7 月 12 日（金）

場所 秋篠宮邸（赤坂御用地内）

○富士天間ひょうたん会について

昭和 62 年天間公民館の「ひょうたん教室」の講座終了後、卒業生有志が集まり、平成元年「天間ひょうたん愛好会」が発足。作品の展示を通して天間地区文化活動に寄与している他、会員の技術研鑽により「天間塗り」という独自の技法に発展させて全国に発信してきた。

平成 13 年「富士天間ひょうたん会」と改称、平成 15 年に富士市文化連盟に加盟し、現在に至る。

静岡県内にはひょうたん会が 7 団体あったが、現在は県下で唯一のひょうたん会となった。

○渡邊永子（わたなべ えいこ）様プロフィール

ひょうたん歴約 35 年。

NPO 法人・全日本愛瓢会には、平成 7 年に入会し以後全国大会には毎年出品している。他の会員が作らない技法での作品作りを心掛けている。

NPO 法人・全日本愛瓢会の免状は、平成 15 年には 10 段、平成 18 年には鶴鳳名人、平成 21 年には亀龍名人、さらに平成 26 年には最高位である玉勲名人の称号を与えられる。

表敬訪問の様子



一連の作品「春夏秋冬」と
金光賞の賞状



秋篠宮皇嗣殿下に献上された
「冬」